

加須市障害者計画に係る施策の取組状況（令和2年度実績）

1 評価対象

第5期加須市障害者計画（計画期間：平成30年度(2018年度)から令和2年度(2020年度)まで）に掲げる事業等の全69項目を評価した。

2 事業・取組の評価

各事業等における評価の基準は、実施状況及び事業実施による効果とし、以下の6区分から評価した。

<事業（取組）での評価の区分>

評価の区分	達成度の評価基準
1 目標を達成	当該年度に実施すべき取組みを予定通り、計画的に行い、事業実施による効果が表れた。 「効果が表れた」とは、成果指標の実績値が目標値の100%以上に達し、当該年度の目標を達成した。
2 概ね達成	当該年度に実施すべき取組みを円滑に行い、事業実施による効果が概ね表れた。 「効果が概ね表れた」とは、成果指標の実績値が目標値の80%以上に達したものをいう。 ただし、「指標の性質上、最低限達成すべき目標値を達成していない」あるいは「当該実績値が、過去2年分の実績と比較し、平均的水準に満たない」など、指標の実績値が目標値の80%以上に達したとしても、「効果が概ね表れた」とは言い難い場合、下位の評価とすることを妨げるものではない。
3 やや遅れている	当該年度に実施すべき取組みを行ったものの、事業実施による効果が小さかった。 「効果が小さかった」とは、成果指標の実績値が目標値の80%未満となったものをいう。
4 大幅に遅れている	何らかの課題があり、事務事業が滞ってしまっており、事業実施による効果が表れなかった。 「効果が表れなかった」とは、成果指標の実績値が目標値の50%未満となったものをいう。
5 未着手	何らかの理由により、事業の着手ができなかった。
6 コロナによる影響	新型コロナウイルス感染症の影響により、正しい評価ができなかった。 ※各評価の対象外とする。

3 基本政策レベル（大分類）の評価

基本政策レベル（大分類）における評価は、大分類ごとに位置付けられている事業等の達成度評価の結果をもとに、次の評価基準で判定し、計画全体の達成状況を把握した。

<基本政策レベルでの評価の区分>

評価の区分	達成度の評価基準
①計画どおり達成できた	大分類を構成する全ての事業等において達成度評価が「目標を達成」または「概ね達成」であった。
②概ね達成できた	事業等の達成度評価が「目標を達成」または「概ね達成」となった事業数の割合が80%以上であった。
③やや達成できなかった	事業等の達成度評価が「目標を達成」または「概ね達成」となった事業数の割合が80%未満であった。
④達成できなかった	事業等の達成度評価が「目標を達成」または「概ね達成」となった事業数の割合が50%未満であった。

4 評価結果の概要

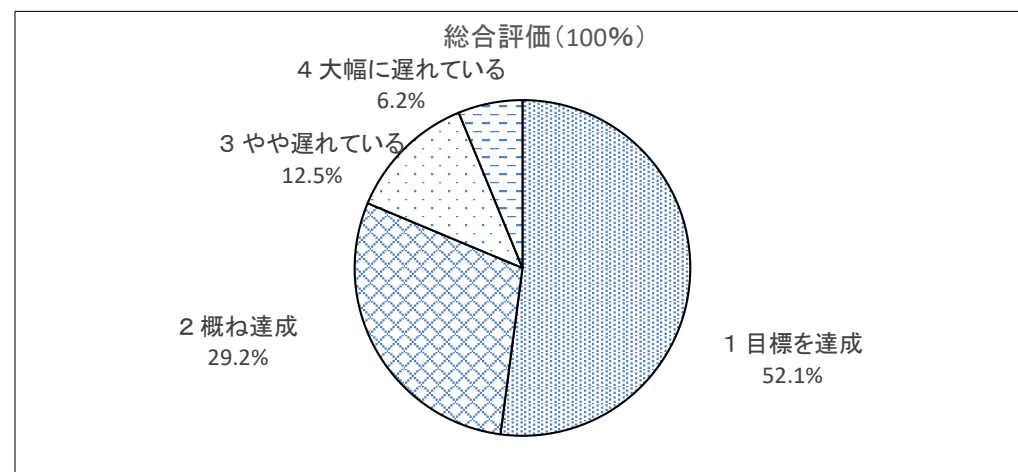
上記の評価区分ごとの事業等の数、割合は次のとおり。

<評価区分ごとの事業等(全69項目)> ※評価の区分「6コロナによる影響」となった事業等は、評価対象外とする。

基本政策 (大分類)	令和元年度分の評価		令和2年度分の評価		対象数	1・目標を 達成	2・概ね達 成	3・やや遅 れている	4・大幅に 遅れている	5・未着手	【参考】 6・コロナ
	目標レベル評価	対象数に占める「1・目標を 達成」及び「2・概ね達成」の 割合	目標レベル評価	対象数に占める「1・目標を 達成」及び「2・概ね達成」の 割合							
1 日常生活への支援	②概ね達成できた	85.2%	③やや達成できな かった	75.0%	20	9	6	4	1	0	7
2 障がい児に対する支援	②概ね達成できた	90.0%	②概ね達成できた	90.0%	10	8	1	1	0	0	0
3 就労への支援	③やや達成できな かった	66.7%	※評価できず	0.0%	0	0	0	0	0	0	6
4 社会参加の促進	②概ね達成できた	80.0%	②概ね達成できた	87.5%	8	4	3	1	0	0	7
5 安心・安全の取組	③やや達成できな かった	72.7%	②概ね達成できた	80.0%	10	4	4	0	2	0	1
合計					48	25	14	6	3	0	21
割合					—	52.1%	29.2%	12.5%	6.3%	0.0%	—

5 総合評価

区分	事業等(件)	割合(%)	総合評価
1、目標を達成	25	52.1	B 相当程度 成果があった
2、概ね達成	14	29.2	
3、やや遅れている	6	12.5	
4、大幅に遅れている	3	6.2	



6 各取組項目の取組結果等

取組項目ごとの取組内容等については、次ページ以降のとおり。